

## 研究会「企業からの情報漏洩に備える」



# ORACLE®

## ベンダーサイドから見た情報漏洩対策

日本オラクル株式会社  
システム製品統括本部 営業推進本部  
担当ディレクター  
北野 晴人 ,CISSP

2007年12月17日

以下の事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント(確約)するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

## 個人情報保護法以降 情報漏洩対策、その後



ORACLE

Copyright© 2007, Oracle. All rights reserved.

3

## 個人情報保護法対応の反省から

法律ができた！（大変だ、対応しなければ）

とりあえず個人情報保護法にだけ対応しておこう

問題が起きたらいいわけできるようにしておこう

コストはなるべくかけたくない

- 根本的な解決になっていない。
- ベンダーに思惑と売りたい製品がある。（ジレンマ）

相変わらず情報漏洩事件は続いている。

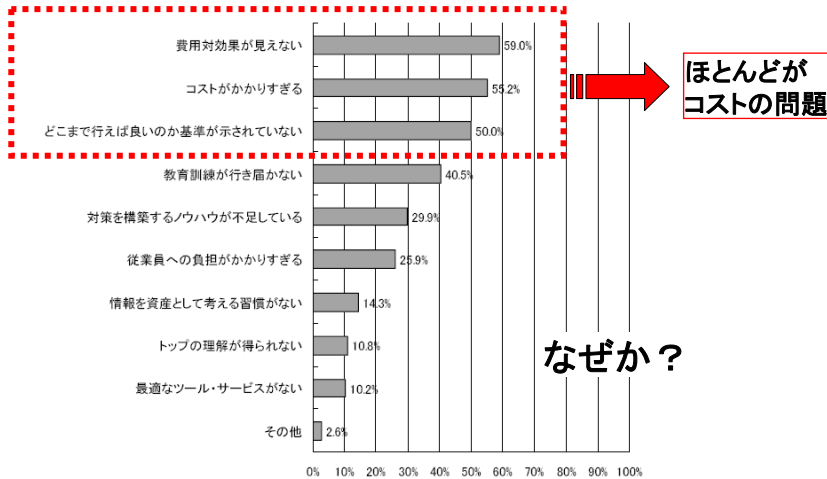
ORACLE

Copyright© 2007, Oracle. All rights reserved.

4

## セキュリティ対策を阻害する要因

【全体】 情報セキュリティ対策実施上の問題点 (MA, N=1024)



出典: 平成19年度警察庁「不正アクセス行為対策等の実態調査」による

ORACLE

Copyright© 2007, Oracle. All rights reserved.

5

## リスク管理としての情報セキュリティを考える

- 何が起きる可能性があるのか？
  - 顧客情報漏洩？
  - 開発機密の漏洩？
  - サイトに対する攻撃によるオンライン業務の停止？
- それが起こったらどんな損害が出るのか？
  - 損害額はいくらか？
  - 法的責任を問われるか？
  - 民事的に損害賠償を求められるか？
  - 行政処分はあるか？
  - 社会的責任、風評被害はあるか？
  - 株価に影響はあるか？

リスクの大きさがわからないとセキュリティ製品に投資するのは難しい(=ベンダーは製品が売れない)

ORACLE

Copyright© 2007, Oracle. All rights reserved.

6

## セキュリティ問題と企業リスクの例

- オンラインサービス会社では外部からの攻撃によってサイトを一時閉鎖に追い込まれた。
  - 対策費用と一時閉鎖の影響で当該四半期は収支が大幅に悪化



5/13(サイト閉鎖前)終値:958,000円  
6/6 (サイト再開後)終値:790,000円  
(▲18.5%)

- オンライン通販の企業では内部情報漏洩によって1ヶ月以上の営業自粛・減収130億円。
- エステサロンの個人情報流出は1名あたり損害賠償35000円(うち弁護士費用5000円)で判決。

ORACLE

Copyright© 2007, Oracle. All rights reserved.

7

## 情報を守るものはなにか？

- 製品ベンダーはテクノロジーの提供が主な仕事。
- ポリシーを決められない顧客は苦労します。
- リスクマネジメントは苦手なことが多いです。

- セキュリティ・ポリシーで情報を守る
- セキュリティ製品を導入して情報を守る
- 社員教育をすれば情報は守れる

モチベーション + ポリシー + テクノロジー

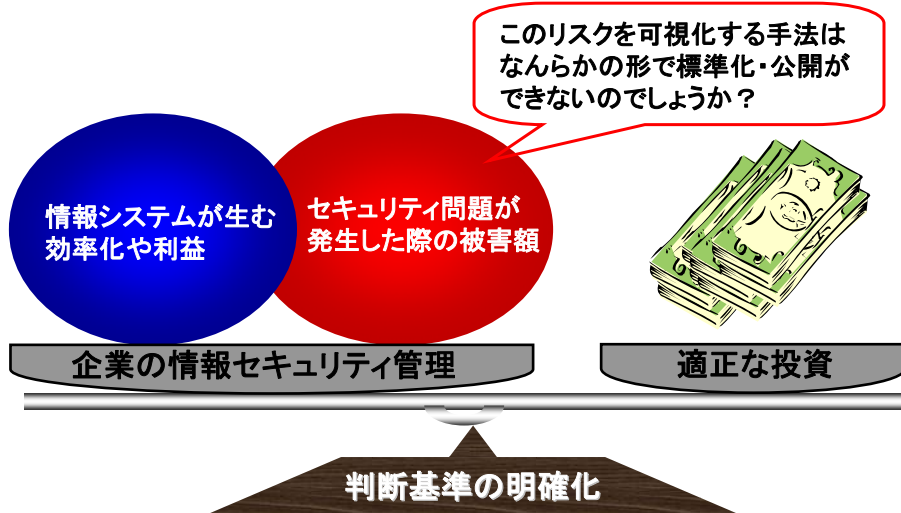
セキュリティの向上と情報の保護

ORACLE

Copyright© 2007, Oracle. All rights reserved.

8

## リスクとのバランスがとれた投資

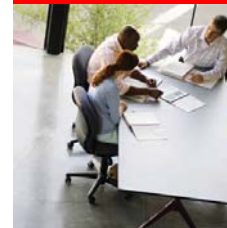


ORACLE

Copyright© 2007, Oracle. All rights reserved.

9

関係各位と相互に協力して  
よりよい情報保護をめざしたいと  
思います。



ORACLE

Copyright© 2007, Oracle. All rights reserved.

10

**ORACLE®**